

平成24年度 第1回 YNU Science Discourse YNU学術ディスコース

平成24年5月9日(水) 15:00~17:00 開催

「YNU学術ディスコース」は、様々な分野の第一線で活躍している研究者を講師として招聘し、研究者同士が自由に楽しく語り合うことで、分野・世代・部局を超えた研究者交流の場を提供して、新たな研究の芽の発掘や研究グループの形成を促進することを目的としています。

本年度第1回は、以下の内容で開催します。若手研究者や大学院生はとくに奮ってご参加下さい。

講演1 リチウムイオン二次電池の開発経緯と将来展望について

リチウムイオン二次電池は小型・軽量・高容量という特長から、携帯電話、ノートパソコンなど一般用途から、電気自動車に、さらには家庭用蓄電池など市場拡大が急である。事業化後16年で1兆円市場に成長した。この技術は日本で開発され、世界で初めて日本で事業化された。初の事業化に取り組んだ経験から開発の経緯と将来展望についてお話ししたい。



【講師】中村 靖彦 氏
元旭化成専務

1962年横浜国立大学工学部電気化学科卒業。1962年旭化成工業株式会社(現旭化成)に入社し、被覆肥料、感光性材料、電子材料、機能膜事業など主として機能性材料に関与。1992年にはリチウムイオン電池事業を担当し、旭化成専務、顧問を経て2008年退任。

講演2 イオン液体を用いた蓄電デバイスのグリーンイノベーション

イオン液体というイオンだけからなる液体が、水、有機溶媒に次ぐ第3の溶媒として注目されている。イオン液体は液体なのに蒸発せず、熱安定性が高く、また普通の溶媒とはまったく異なった溶解性を示す。この特徴を利用し、イオン液体を革新的リチウム系二次電池や燃料電池の電解質として適用した研究を、蓄電デバイスのグリーンイノベーションという切り口で紹介する。



【講師】渡邊 正義 氏
横浜国立大学 大学院工学研究院 教授

1982年早稲田大学大学院理工学研究科博士課程中退。上智大学助手を経て、1992年本学工学部講師、1994年同助教授、1998年同教授、1999年~2002年東京大学大学院客員教授、2001年~現在本学工学研究院教授。

【コーディネータ】 横浜国立大学 理事・副学長(総務・研究担当) 國分 泰雄

講演会

日時 5月9日(水) 15:00~17:00
会場 附属図書館 1階 メディアホール
定員 100名程度
(異分野、若手研究者、学生の方は特に歓迎します。)
参加費 無料
申込み 不要(当日会場へ直接お越しください。)

懇親会

日時 5月9日(水) 17:30~
会場 第2食堂 2階
参加費 2,000円(学生は500円)
申込み 5月2日(水)までに
研究総務係宛にメール又は電話にてお申込みください。